

日本熱帯農業学会 第 111 回講演会

期 日 2012年3月31日(土)・4月1日(日)
 場 所 東京農工大学 府中キャンパス 第1講義棟
 事務局 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学大学院農学府
 日本熱帯農業学会第111回講演会運営委員会
 運営委員長 荻原 勲
 運営委員 仲井まどか・鈴木 栄・山田祐彰・木村園子ドロテア・藤井義晴・車 敬愛・
 福家光敏・田中治夫・及川洋征
 TEL: 042-367-5888 (及川) -5886 (山田) Fax: 042-367-5888 (及川)
 E-mail: yosei@cc.tuat.ac.jp (及川: 問い合わせ、参加・発表申込)
 masaakiy@cc.tuat.ac.jp (山田: 公開シンポジウム問い合わせ)

参加費 一般: 5,000円、学生: 3,000円 (要旨集代を含む、当日受け付けます)
懇親会費 一般: 4,000円、学生: 2,000円 (当日受け付けます)
発表者について 発表者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日までにご入会下さい。

受付 第1講義棟 1階ロビー (3月31日(土) 9:00～、4月1日(日) 8:30～)

会場

第1日 3月31日(土)	第1会場 (1講-22号講義室)	第2会場 (1講-23号講義室)
9:30~12:00	研究発表(講演番号1~10)	研究発表(講演番号11~20)
	第3会場 (1講-25号講義室)	
13:00~14:20	総会・学会賞授与式および受賞記念講演	
14:30~17:30	公開シンポジウム「熱帯農業協力における大学の役割と可能性」 (入場無料、事前申し込み不要)	
18:00~19:30	懇親会(生協2階 オリザ)	

第2日 4月1日(日)	第1会場 (1講-22号講義室)	第2会場 (1講-23号講義室)
9:00~12:00	研究発表(講演番号21~32)	研究発表(講演番号39~50)
13:00~14:30	研究発表(講演番号33~37)	研究発表(講演番号51~56)
14:30~17:30	第4会場 (1講-24号講義室) 研究集会「アフリカの低湿地における稲作の面的拡大の可能性と課題」 (入場無料、事前申し込み不要)	

日本熱帯農業学会第 111 回講演会 プログラム

第 1 日 3 月 31 日 (土)

		第 1 会場 (1 講-22号講義室)			第 2 会場 (1 講-23号講義室)
開始時刻	座長	講演番号. 講演題目 著者 [*発表者] (所属)	座長	講演番号. 講演題目 著者 [*発表者] (所属)	
9:30	江 原 宏 (三 重 大 学 大 学 院)	1. サゴヤシにおける無機成分の総吸収量と分配率の変種間差異 *宮崎 彰 ¹ ・山本由徳 ¹ ・吉田徹志 ² ・渡邊大介 ¹ ・竹森 矢 ¹ ・F.S. RENBON ² ・A.A. ARSY ² ・F.S. JONG ³ ・D.FADJRY ⁴ ・Y.B.PASOLON ² (¹ 高知大学農学部, ² 愛媛大学連合農学研究科, ³ Haluoleo Univ., ⁴ PT. ANJA, ⁵ BPTP PAPUA)	志 和 地 弘 信 (東 京 農 業 大 学 大 学 院)	11. ガーナ、ブルキナファソにおける保全農業普及へ向けての可能性調査 *大前 英 ¹ ・Ronald Nuhu Issak ² ・Albert Barro ³ ・Mohammed M. Buri ² ・Simpore Saidou ³ ・Eric Owusu Adjei ² ・南雲不二男 ¹ (¹ 国際農林水産業研究センター, ² ガーナ土壌研究所, ³ ブルキナファソ国立環境・農業研究所)	
9:45		2. 土壌水分ストレスおよび塩水処理栽培がナンヨウアブラギリ (<i>Jatropha curcas</i> L.) の生育に及ぼす影響 *森田あす美 ¹ ・志水勝好 ² (¹ 筑波大学大学院生命環境科学研究科, ² 筑波大学生命環境系)		12. ニジェール共和国のサヘル地域における化学肥料の少量局所施肥(マイクロドーズ)と村内有機物の施用がトウジンビエ (<i>Pennisetum glaucum</i> L.) の収量と土壌肥沃度に及ぼす影響 *鈴木香奈子 ¹ ・岡田謙介 ² ・東楨 健 ¹ (¹ 国際農林水産業研究センター, ² 東京大学大学院農学生命科学研究科)	
10:00		3. 食用カンナ (<i>Canna discolor</i> Lindl.) のバイオマス生産とデンプン生産に及ぼす地上部刈取りの影響 *山本由徳 ¹ ・宮田夕夏 ¹ ・宮崎彰。田中伸幸 ² (¹ 高知大学農学部, ² 高知県立牧野植物園)		13. 西アフリカ・サヘル地域において地表面の状態が土壌水分動態に与える影響 *伊ヶ崎健大 ¹ ・真常仁志 ² ・田中 樹 ³ ・石川裕彦 ⁴ ・舟川晋也 ^{2,5} ・小崎 隆 ¹ (¹ 首都大院都市環境, ² 京大院農, ³ 総合地球研, ⁴ 京大防災研, ⁵ 京大院地球環境)	
10:15		4. インドネシア, 南東スラウェシ州南コナウエ県における陸稲の収量性と玄米の化学的品質 *菊田真由実 ¹ ・山本由徳 ¹ ・Y.B. Pasolon ² ・F.S. Rembon ² ・A.F. Irawan ¹ ・宮崎 彰 ¹ ・西村美彦 ³ (¹ 高知大学農学部, ² ハルオレオ大学農学部, ³ 琉球大学)		14. タンザニアの畑作地における施肥管理が土壌リンの挙動に及ぼす影響の解明 *杉原創 ¹ ・西垣智弘 ¹ ・舟川晋也 ¹ ・Method Kilasara ² ・小崎 隆 ³ (¹ 京大院農, ² ソコイネ農業大学 (タンザニア), ³ 首都大院都市環境)	
10:30	根 本 和 洋 (信 州 大 学 大 学 院)	5. イネ半矮性遺伝子 <i>sd1</i> 座の異なる対立遺伝子の形質発現: 外生ジベレリンが半矮性同質遺伝子系統の節間伸長に及ぼす影響 *松下玲子・入江憲治・小塩海平・志和地弘信・豊原秀和 (東京農業大学大学院農学研究科)	伊 ヶ 崎 健 大 (首 都 大 学 東 京)	15. タンザニア・ウルグル山塊の土壌・気象条件が異なる畑作地における水食特性の評価 *西垣智弘 ¹ ・杉原 創 ¹ ・Method Kilasara ² ・舟川晋也 ¹ (¹ 京大院農, ² ソコイネ農業大学)	
10:45		6. 開張型と直立型を持つイネ半矮性準同質遺伝子系統の受光態勢 *入江憲治・綿貫 良・志和地弘信・豊原秀和 (東京農業大学大学院農学研究科)		16. ミャンマーとバングラデシュの NGO によるサイクロン減災へ連携実践の可能性 安藤和雄 (京都大学東南アジア研究所)	

11:00		7. 熱帯地域の植物のアレロパシー活性は他の地域の植物よりも高い *藤井義晴・木村園子ドロテア・及川洋征 (東京農工大学大学院農学研究院)		17. Sustainable Agricultural Practices in Japan and Myanmar *Thin Thin Myat ¹ , Kazuo Ando ² , Saw Pyone Naing ³ (¹ Dagon University, Myanmar, ² CSEAS, Kyoto University, ³ Mandalay University)
11:15	入江憲治 (東京農業大学大学院)	8. 分子マーカーを用いたグアテマラ産アマランサス遺伝資源の見直し 根本和洋 ¹ ・*敦川亜紀 ² ・朴 永俊 ³ ・南 峰夫 ¹ ・松島憲一 ¹ (¹ 信州大学大学院農学研究科, ² 信州大学農学部, ³ 農林生物資源研究所)	杉原創 (京都大学)	18. Comparative Economic Return from Shrimp-Boro rice Cropping System and Aman rice- Boro rice Cropping Systems in Coastal Area of Bangladesh *Md. Rashedur Rahman ¹ and Ando Kazuo ² (¹ Asian and African Area Studies, Kyoto University, ² Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University)
11:30		9. アズキ近縁野生種 <i>V. nakashimae</i> および <i>V. riukiensis</i> における耐塩性関連形質のQTL解析 *吉田裕太郎 ¹ ・伊勢村武久 ² ・内藤 健 ² ・加賀秋人 ² ・奥野員敏 ¹ ・江原 宏 ³ ・友岡憲彦 ² (¹ 筑波大学, ² 農業生物資源研究所, ³ 三重大学)		19. 東南アジア大陸山地部における伝統的砂糖生産技術：ラオスにおける生産工具調査から 園江 満 (東京大学総合研究博物館)
11:45		10. 低pH条件下での <i>Vigna vexillata</i> の初期生育特性 *江原宏 ¹ ・田中春菜 ¹ ・平松有美 ¹ ・友岡憲彦 ² (¹ 三重大学大学院生物資源学研究科, ² 農業生物資源ジェンバンク)		20. イトミミズの利用による熱帯での有機稲作の研究 第2回報告 *杉山信太郎・Tawan Hangsoonern (タイ国レインボウファーム)
12:00	昼休み			
13:00	第3会場 (1講-25号講義室)			
	総会 学会賞授与式および受賞記念講演 ・奨励賞：熱帯果樹の栽培生理学的研究 とくにチェリモヤとマンゴーを中心に 樋口浩和 (京都大学大学院農学研究科) ・磯 賞：アフリカにおけるネリカ米栽培技術の確立と技術普及への貢献 坪井達史 (国際協力機構(JICA) 稲作上級技術アドバイザー)			
14:30	公開シンポジウム「熱帯農業協力における大学の役割と可能性」 司会：藤井義晴・仲井まどか (東京農工大学) ・学生との協働による国際農業開発：東京農業大学の取り組みから 夏秋啓子 (東京農業大学国際食料情報学部) ・ベトナム中部での生業多様化と社会的弱者層の支援への取り組み *田中 樹 ¹ ・水野 啓 ² ・Le Van An ³ (¹ 総合地球環境学研究所, ² 京都大学院地球環境学堂, ³ フエ農林大学) ・バックマー・チャコールプロジェクトの経験：教育・研究・社会貢献の相乗効果を図る 及川洋征 (東京農工大学大学院農学研究院) ・日系アグロフォレストリー普及とアマゾンの持続的開発 山田祐彰 (東京農工大学大学院農学研究院) ・農学国際協力への組織的参加：九州大学の取り組み 緒方一夫 (九州大学・熱帯農学研究センター) コメント・総括：浅沼修一 (名古屋大学 農学国際教育協力研究センター)			
18:00	懇親会 (生協2階オリザ) 19:30終了予定			

第2日 4月1日(日)

		第1会場(1講-22号講義室)		第2会場(1講-23号講義室)
開始時刻	座長	講演番号. 講演題目 著者[*発表者](所属)	座長	講演番号. 講演題目 著者[*発表者](所属)
9:00	志水勝好 (筑波大学大学院)	21. 高温, 強光および高温ストレス下におけるイチゴの生理生態学的研究: (2) 異なる湿度および温度条件下における葉位別の気孔特性 *福家光敏 ¹ ・Nguyen Vu Linh ² ・Nguyen Duy Huy Hoang ² ・齊藤敦子 ³ ・及川洋征 ¹ ・山田祐彰 ¹ ・鈴木 栄 ¹ ・荻原 勲 ¹ (¹ 東京農工大院連合農学研究科, ² ベトナムバックマー国立公園, ³ 東京農工大院農学府)	山本宗立 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)	38. 市場からみた生計維持活動: ザンビア南部州農村地域の事例 *宮寄英寿 ¹ ・石本雄大 ¹ ・真常仁志 ² ・田中樹 ¹ (¹ 総合地球環境学研究所, ² 京大院農)
9:15		22. アーバスキュラー菌根菌と粗穀くん炭の施用がイチゴの収量及び品質に与える影響 *小島英幹 ¹ ・倉内伸幸 ¹ ・岩永 崇 ² (¹ 日本大学大学院生物資源科学研究科, ² 日本大学生物資源科学部)		39. アフリカ東南部マラウイ高地における温帯果樹栽培の現状と課題: 改良品種の導入と普及に関する歴史的背景を中心に *福田聖子・西川芳昭 (名古屋大学大学院国際開発研究科)
9:30		23. トマトの水分生理に及ぼすナス属台木の影響 *種井康二・樋口浩和・縄田栄治(京都大学大学院農学研究科)		40. 参加型育種の概念に関する解釈と実践の多様性(2): ネパールにおけるステークホルダーの語りと行動 鄭せいよう ¹ ・根本和洋 ² ・*西川芳昭 ¹ (¹ 名古屋大学大学院国際開発研究科, ² 信州大学大学院農学研究科)
9:45		24. 光強度が <i>Ficus benjamina</i> の生育に及ぼす影響 井上知昭 ¹ ・*福井健斗 ¹ ・篠原 卓 ¹ ・五十嵐大造 ¹ ・古藤澄久 ² (¹ 東京農業大学短期大学部, ² スタンレー電気(株))		41. An Assessment of Seed Procurement Behavior of Farmers in Central Ethiopia: Case of Common Bean *Bedru Beshir ¹ , Yoshiaki Nishikawa ¹ , Kiyoshi Shiratori ² , Seiko Fukuda ¹ (¹ GSID, Nagoya University, ² Project for Enhancing Development and Dissemination of Agricultural Innovation through Farmers Research Groups, JICA)
10:00	瀬古澤由彦 (筑波大学大学院)	25. 開花前に低温遭遇したドリアンにおける花器の形態的観察 *香西直子 ¹ ・Theerawut Chutinanthakun ² ・Orwintinee Chusri ² ・Sombat Tongtaw ² ・緒方達志 ¹ (¹ 国際農研, ² Chanthaburi Horticultural Research Center)	山田祐彰 (東京農工大学大学院)	42. インドネシア西ジャワ州における高収量有機栽培水田の水管理と稲わら管理の特徴 *小田正人・鳥山和伸・横山繁樹 (国際農林水産業研究センター)
10:15		26. チェリモヤの雌蕊受容性における季節的变化 *松田大志・樋口浩和(京都大院農学研究科)		43. 東北タイの農村におけるシロアリ塚の利用 *宮川修一・小畑尚子・土田浩治・舟橋和夫 ¹ ・齋藤暖生 ² ・竹中千里 ³ (岐阜大学応用生物科学部, ¹ 龍谷大学社会学部, ² 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所, ³ 名古屋大学大学院生命農学研究科)

10:30	27. パッションフルーツにおける果実品質と積算温度の関係 篠原 卓・*比嘉脩人・薄井瑞季・五十嵐大造・井上知昭（東京農業大学短期大学部）	44. The Role of Crop, Livestock and Traditional Practices in the Dry Zone Myanmar: A Case Study in a Riverine Village *Moe Swe Yeeand and Eiji Nawata (Graduate School of Agriculture, Kyoto University)
10:45	28.パッションフルーツの果汁成分と気温との関係から予測した千葉県南部地域における完熟可能な開花期間 篠原 卓・*薄井瑞季・比嘉脩人・五十嵐大造・井上知昭（東京農業大学短期大学部）	45. The relationship between herbivory and biodiversity as indicator of an agroecosystem sustainability: A case study of homegardens in the North East Thailand *Laura Liliana Abril Garcia and Eiji Nawata (Graduate School of Agriculture, Kyoto University)
11:00	29. アミノ酸の添加がパッションフルーツの花芽発芽に及ぼす影響: 柱頭抽出液が発芽に及ぼす影響 *水野宗衛 ¹ ・吉沢 藍 ¹ ・松田友彦 ² (¹ 玉川大学農学部, ² 明海大学)	46. 換金作が導入されつつある焼畑耕作の現状と不作年における互助システム: ラオス北部ルアンパバーンにおける事例 *亀田知佳 ¹ ・Somphanh Pasouvang ² ・Khosada Vongsana ² ・縄田栄治 ¹ (¹ 京都大学農学部, ² ラオス国立大学農学部)
11:15	30. パッションフルーツ果汁の酸含量はなぜ強く搾ると増加するのか? *近藤友大・樋口浩和（京都大院農学研究科）	47. ミャンマー・バゴー山地におけるカレン焼畑土地利用の10年間の動態 *竹田晋也・鈴木玲治・山本宗立・ニエンチャン（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
11:30	31. 過熱水蒸気を用いた蒸熱燻蒸処理によるバナナ果実の品質への影響 *中村勝利 ¹ ・アヌサラ チョプスリ ² ・内山友和 ³ ・五月女 格 ⁴ ・弦間 洋 ² (¹ 株式会社ひたちなかテクノセンター, ² 筑波大学生命環境科学研究科, ³ 新熱工業(株), ⁴ 食品総合研究所)	48. Estimation of plant biomass in swidden fallows in a Karen village, the Bago Mountains, Myanmar *Nyein Chan ¹ , Sota YAMAMOTO ² , Reiji SUZUKI ³ , and Shinya TAKEDA ¹ (¹ Graduate School of Asian and African Area Studies, Kyoto University, ² Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University, ³ Faculty of Bioenvironmental Science, Kyoto Gakuen University)
11:45	32. 冬期の気温がアボカドの品種'Gem'の果実肥大および果肉中油分に及ぼす影響 *米本仁巳 ¹ ・岡山智彦 ¹ ・前田隆昭 ¹ ・神内良一 ¹ ・近藤友大 ² ・樋口浩和 ² ・緒方達志 ³ (¹ 神内南方系果樹研究所, ² 京大院農学研究科, ³ 国際農研)	49. ミャンマー・バゴー山地の焼畑耕作に及ぼすタケの一斉開花の影響 *鈴木玲治 ¹ ・竹田晋也 ² ・ニエンチャン ² ・山本宗立 ³ (¹ 京都学園大学バイオ環境学部, ² 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科, ³ 鹿児島大学 国際島嶼教育研究センター)
12:00	昼休み	

立石亮
(日本大学生物資源科学部)

及川洋征
(東京農工大学大学院)

13:00	福家光敏 (東京農工大学大学院連合農学研究所)	33. ソルガム群落内CO ₂ プロファイルに関する研究：群落光合成との比較解析 *富永 淳・藪田 伸・福澤康典・古謝風花・川満芳信 (琉球大学農学部)	鈴木玲治 (京都学園大学バイオ環境学部)	50. マレーシア国サラワク州サバール州有林における林分構造の変化と森林利用 *棚橋雄平 ¹ ・佐藤孝吉 ² ・飯田敏雅 ¹ ・田中一生 ³ ・John Sabang ⁴ (¹ 国際緑化推進センター, ² 東京農大地域環境, ³ 早稲田大人間科学, ⁴ Sarawak Forestry Corporation)
13:15		34. カリウム肥料成分の違いがサトウキビの糖収量に与える影響 *渡邊健太・福澤康典・富永 淳・藪田 伸・諏訪竜一・川満芳信 (琉球大学農学部)		51. マレーシア国サラワク州サバール州有林における森林造成と住民の参加形態 *佐藤孝吉 ¹ ・棚橋雄平 ² (¹ 東京農大地域環境, ² 国際緑化推進センター)
13:30		35. アルカリグラスの形態・生理に関する研究 第2報 塩水処理がアルカリグラスの種子発芽および生育に及ぼす影響 *志水勝好 ¹ ・大石小李 ² ・石塚幹子 ² (¹ 筑波大学生命環境系, ² 筑波大学生命環境学群生物資源学類)		52. Ifugao vegetable terraces: history and sustainability of vegetable farming in Tinoc, Ifugao, Philippines *Adrian Albano and Shinya Takeda (Graduate School of Asian and African Area Studies, Kyoto University)
13:45	鈴木加奈子 (国際農林水産業研究センター)	36. 高温低湿度条件において灌水頻度と播種時期がNERICA4の収量に及ぼす影響 *鮫島啓彰 ^{1,3} ・Abdel Gabar Babiker ^{2,3} ・Samia Osman Yagoub ^{2,3} ・杉本幸裕 ^{1,3} (¹ 神戸大学大学院農学研究科, ² スーダン科学技術大学, ³ JICA/JST SATREPS)	竹田晋也 (京都大学大学院)	53. マーシャルにおける農業の現状と問題点 *新田直人 ¹ ・Jabukja Aikne ² ・中村智史 ¹ ・飯泉佳子 ¹ ・小澤 聖 ¹ (¹ 国際農林水産業研究センター, ² Ministry of Resources and Development, Marshall Islands)
14:00		37. Burkina Faso phosphate rock is an effective P fertilizer for rice grown on Ghanaian acidic and low P soil: Incubation study *Monrawee Fukuda, Fujio Nagumo, Satoshi Nakamura, and Satoshi Tobita (Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS))		54. ミクロネシア連邦チューク州におけるキダチトウガラシの利用 山本宗立 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)
14:15				55. インドネシア、南東スラウェシ州のサゴヤシの商品化と流通の問題 西村美彦 (琉球大学大学院観光科学研究科)
14:30 ～ 17:30	第4会場 (1講-24号講義室) 第190回研究集会： アフリカの低湿地における稲作の面的拡大の可能性と課題			